

# かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2011年2月 【第4号】  
発行者 大矢 徹  
連絡先 0466(23)5711  
<http://ohyatoru.web.fc2.com/>  
mail:ohya.toru@gmail.com

## 共に生きるまち 『藤沢市』をめざします



2011年2月14日 藤沢駅北口にて政策ビラ配布

わたしは「全国に誇れる藤沢市」を実現するための政策として、「共に生きるまち」「いきいきと暮らせるまち」「安全・安心に暮らせるまち」の3点を柱とした総合的な政策を掲げています。

今回の『<sup>かんてつ</sup>貫徹通信』では、そのひとつである「共に生きるまち」について、わたしの考えの一端をお示しさせていただきます。

ぜひ多くの皆さまにご覧いただき、ご意見等いただければ幸いです。

### NPOや市民活動を推進し、市民参加による行政を進めます

藤沢市では、現在策定されている新総合計画の中で「地域分権」「新しい公共」など、市民主体のまちづくりを進めるとしています。しかし、実態は理念が先行し、地域経営会議等に携わる市民へ相当の負担をかけて進められている状況です。

このような市民主体のまちづくりは、果たして市民の方やNPOの方が望んでいるものか、疑問を感じざるを得ません。

ボトムアップな議論による市民主体のまちづくりが進められるよう、すでに活躍されている市民団体・NPOの方と行政のパイプ役を果たすとともに、市民活動の一層の活性化に向けて、寄付制度・税制優遇制度等を通じた財政的支援など、活動をバックアップする施策の強化にとりくみます。

## 非正規労働者の処遇改善をはじめとした 格差是正にとりくみます

平成20年に施行された改正最低賃金法により「生活保護との整合性に配慮する」とされたことを受け、神奈川県の最低賃金は、昨年10月に29円引き上げられ、818円となりました。しかし、最低賃金が生活保護の給付水準を下回る逆転現象は未だ解消されていません。

また、官民を問わず、非正規労働者の処遇改善に進展は見られず、依然「ワーキング・プア」などの言葉がマスメディアを賑わせています。

誰もが働きがい・やりがいのある職場環境を作るためには、最低賃金の引き上げはもとより、雇用保険・社会保険など社会保障を含めた抜本的な処遇改善にとりくむ必要があります。

藤沢市だけでは解決しえない課題ではありますが、多くの働く仲間や各級議員と連携し、地域から課題を発信するとともに、格差是正に向けた様々なとりくみを進めます。

## ワーク・ライフ・バランス社会の実現にとりくみます

企業が業績回復を果たす過程で厳しい人員合理化を進めた結果、一人あたりにかかる仕事の負担が増加し、長時間労働や不払い残業を強いられる労働者が増える一方、家庭における子育てや介護、また地域活動等に関わる時間が著しく減少するなど、仕事と生活とのバランスが大きく崩れてしまいました。

これらが起因となっている少子化問題や、年金・医療制度の危機的状況を根本から改善するためには、男女共同参画や次世代育成支援などを中心としたワーク・ライフ・バランス社会の実現が急務です。

藤沢市が策定した「次世代育成支援行動計画」や「男女共同参画プラン」など、ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた計画の具現化を図るとともに、進行管理の徹底や現場ニーズが反映できる体制とするため、行政・事業主・労働者の3者による審議会の設置を求めます。

**ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せください。**

とおる  
**おおや徹**  
プロフィール

### 【経歴】

1984 県立鶴嶺高校卒  
1988 日本大学生産工学部卒  
1989 藤沢市役所採用  
2010 藤沢市役所退職  
1996~ 湘南地域連合事務局長  
をはじめ労働組合役員を歴任

### 【生年月日】

1965年5月18日生 45歳

### 【趣味】

温泉、食べ歩き

### 【好きな言葉】

初心忘れるべからず